

Vaccine ワクチン

Communicable disease control
Live vaccine
Cellular immunity
Immunization
Inactivated vaccine
Bacteria
Epidemic
Antigen
Prevention
Humoral immunity
Virus
Antibodies
Infectious disease
アジュバント
Adjuvant



2016

5/1 日

2:00pm-3:30pm

(開場 1:30pm)

大阪大学 いちよう祭 一般向け公開イベント

免疫治療最前線

ワクチン × アジュバント 開発

ゲスト：黒田 悦史 さん

ゲスト 黒田 悦史 大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC) 准教授

聞き手 津村 明子 大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC) 助授

場 所 大阪大学吹田キャンパステクノアライアンス棟 1階アライアンスホール

主 催 大阪大学免疫学フロンティア研究センター (IFReC)

協 力 大阪大学 21世紀懐徳堂

※ 事前登録不要 / 参加費無料

WPI Osaka University
iFReC

- 身近なテーマから最新の免疫研究をご紹介 -

サイエンスカフェ・オンザエッジ

ワクチン（予防接種）はなぜ効くの？ ワクチンの名脇役、アジュバントってなんだろう？

人類はワクチンを創り出すことに成功しました。ジェンナーの種痘に始まり、予防接種によって多くの人の命が感染症から守られています。しかし科学の世界では、なぜワクチンが効くのか、細かい分子のレベルまではまだ説明ができていません。ワクチンの作用の全貌を分子レベルまで解明できれば、ワクチンの改良や効果的なワクチンの設計が可能になります。今回のサイエンスカフェでは、ワクチンについて今わかっている最前線の話をご紹介します。また、ワクチンの効き目に欠かせない「アジュバント」という物質についても説明します。アジュバントの語源はラテン語の「Adjuvare（助ける）」、まさに助っ人としてワクチンの働きを支える存在です。

さらに、最先端の免疫学ではワクチンとアジュバントのコラボレーションで新しいワクチンを創り出そうとしています。新しいワクチンは感染症だけでなく、他の病気の予防や治療への応用にも期待が高まっています。そんな未来のワクチンの開発についてもお伝えします。



ゲスト

黒田 悦史（くろだ えつし, Ph.D.）

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 准教授。

九州工業大学情報工学部卒業、産業医科大学大学院修了。博士。

産業医科大学助手、講師、British Columbia 大学がん治療センター

博士研究員を経て、2012年より現職。

研究テーマは新規アジュバントの開発研究。

大阪大学 いちよう祭
一般向け公開イベント

- 身近なテーマから最新の免疫研究をご紹介 -

サイエンスカフェ・オンザエッジ

2016 5/1 日

2:00pm-3:30pm

(開場 1:30pm)

【場 所】

大阪大学 吹田キャンパス
テクノアライアンス棟 1階 アライアンスホール
(大阪府吹田市山田丘 2番 8号)

【アクセス】

- ・モノレール「阪大病院前」から徒歩 15分
- ・阪急バス・近鉄バス「阪大本部前」から徒歩 5分
- ・阪急北千里線「北千里」から徒歩 18分



【お問合せ】

大阪大学免疫学フロンティア研究センター・企画室

Email: rpmo@ifrec.osaka-u.ac.jp Tel: 06-6879-4777

サイエンスカフェとは、カフェのようなリラックスした空間で、科学の専門家と市民とが科学について気軽に語り合うイベントです。サイエンスカフェ・オンザエッジでは、IFReC や関連研究分野の研究者を話題提供者（ゲスト）に招き、最先端の免疫研究を皆様に紹介しています。

